

スタジオディーン

Windows環境に沿ったHD編集システム。 Adobe PhotoshopやAfter Effectsとの連携

HD 事例 :Bluefish を使った HD アニメ編集



宮本 逸雄氏



「ジバング」©かわくちかいじ / 講談社・ジバング製作委員会

会社

スタジオディーン

アニメーションの企画から制作全般までを行う。
数多くの著名な TV アニメ制作の実績を持つ。
www.deen.co.jp

使用製品

- Adobe Premiere Pro
- Adobe After Effects

杉並区西荻北に所在するスタジオディーンは、アニメーションの企画から制作全般までを業務としているアニメーション制作プロダクション。1975年に設立。現在に至るまで、数多くの著名な TV アニメ制作の実績を持つ。現在、「今日からマ王!」(NHK BS2 毎週土曜 9:00 ~)、「ジバング」(TBS 毎週木曜 25:25 ~)、「tactics」(テレビ東京 毎週火曜 25:30 ~)、「Get Ride! アムドライバー」(テレビ東京 毎週月曜 18:30 ~)の4本のレギュラー作品を担当する。

2000年、スタジオディーンは、仕上げ、撮影、編集などにおいて本格的にデジタル化に移行した。そのデジタル化の一貫として、昨年の9月にHD対応の編集システムでPremiere ProやAfter EffectsなどをバンドルしているBluefish444「HD|Fury」を導入した。スタジオディーンのHD|Furyシステムは、7TBのRAIDを組んでいる。

CG部門の管理に従事しているスタジオディーン 企画部長の宮本 逸雄 (みやもと・いつお)氏は、HD|Furyを選択した理由について以下のように話している。「さまざまなHDシステムを検討していましたが、すでに当社で構築していたWindowsでの制作環境を崩さないためにWindowsベースのシステムであることを第一条件に上げました。次に安定性やコストパフォーマンスです。HD|Furyは、上記の条件を全て満たしていました。また、HD|Furyのバンドル編集ソフト

はPremiere Proであったという点も大きなポイントです。Premiere Proは、同じAdobe製品で当社に欠かせないツールであるPhotoshopやAfter Effectsとの親和性が高く、連携が図れることが利点です」

劇場版アニメも手掛け、また現在BS HDやSDTVと、混在した制作を行っているスタジオディーンは、HD|FuryをHDとSD両方の制作用途として使用している。

スタジオディーンは、作画を担当者が行い、それをスキャン、ペイント、コンポジット機能のあるAnimoというアニメーションシステムで取り込んでデータ化する。静止画の連番ファイルであるそのデータをAfter Effectsに読み込み、必要であったらエフェクトなどの加工を施しアニメーションファイルを作成する。After Effectsで作成したアニメーションファイルは、HD|Furyシステムに取り込み、Premiere Proで編集を行い、HDCAMに落として確認工程に持って



「ジバング」©かわぐちかいじ / 講談社・ジバング製作委員会



「今日からマ王!」© 壽林知・角川書店
NHK・総合ビジョン

いく。確認後、通常リテイクは平均して2～3回修正が行われる。Premiere Proで再編集などの調整を行って、最終形態となる完成原板を作り上げていく。完成原板は、SDのプロジェクトにHD素材を取り込みを行い、HD完成原板として組み直して最終形とする。

「作業工程では、HD素材でもSDに落として編集を行っています。HD|Fury導入直後は、HDでの作業も試みたのですが、マシンに負担をかけながらHD作業を進めるより、軽いデータを扱って効率をアップした方が、当社のような毎週のオンエアを控えている制作スケジュールには適しているようです」「アニメ制作においてHDは、素材の全てが詳細に表れてしまいます。なじませるのが容易でなく、クオリティを追求するためにはHD|Furyのようなハイスペックマシンでの処理が必須となります」と宮本氏は話している。

既存のバージョンよりPremiereのパワーユーザーである宮本氏は、Premiere Proを以前のバージョンと比較して「パフォーマンスも向上し、再生機能などの安定性も増し、数多くの新機能も搭載されました。5.1chも扱え、クオリティ的に大変満足しています。また、Premiere Pro自体が豊富なエフェクトを搭載しており、よく活用するのですが、さらにAfter Effectsのプラグインが読み込めることによって、ますますの充実が図られています。After Effectsとの併用という点で、プロジェクトがやりとりできることなども大変便利です。Premiere Proは、完全なプロ仕様になったという印象を受けています」と語っている。

"Windows ベースであること。そして安定性とコストを考えたらPremiere Proだった"

スタジオディーン め組室長
宮本 逸雄氏

お問い合わせ先

アドビ製品は、お近くのアドビ認定ディーラー(AAD: Adobe Advanced Dealer)でお買い求めください。AADリストをはじめとする最新情報は、アドビシステムズホームページ(www.adobe.co.jp)で入手して下さい。製品の購入に関する詳細はカスタマーインフォメーションセンター (tel.03-5350-0470) へお問い合わせください。